



だれの子どもも  
ころさせない

## 「9の日」アクション

2月9日(水) 15:00より10人の参加者で近鉄高の原駅前にて「9の日」アクションを行いました。平城ニュータウン九条の会の訴えが拡声器の故障で地声となりました。

「敵基地問題」「9条改憲」「緊急事態条項」等の問題点がどの程度の方に届いたのか? 残念でした。シリア・アフガニスタン・南スーダンにおける最近の戦闘の犠牲者の写真を掲示しました。ジャーナリストの西谷文和さんから提供されたものです。犠牲となるのは兵士でなく、一般市民で特に子供たちであることを訴えています。

「正義の戦争なんかこの世は無い」と思わせます。

「緊急事態条項は民主主義の破壊」のチラシを配布しました。

「憲法改悪」署名は12筆でした

## “平和っていいね フェスティバル”

生協平和の会と共催

3月27日(日) 10:30~12:00

場所: 生協朱雀店

演奏: 沖縄三線による歌  
ハンドベル

展示: 日米地位協定 他

シール投票:

(雨天決行)

企画・運営のお手伝いされる方は  
3月18日の世話人会にご参加を  
お願い致します。

皆様のご参加をお願い致します。



3月18日(火) 10:00より生協朱雀店会議室にて**世話人会**です。世話人でなくても、参加していただきご意見・活動等についてお聞かせ下さい。

「平和っていいね、フェスティバル」の打合せを行います。お手伝い頂ける方のご参加をお待ちしております。



発行者: 平城ニュータウン九条の会

✉: [heijyounewtown9article@gmail.com](mailto:heijyounewtown9article@gmail.com)

HP: <https://www.nara9jyonet.com>

# 敵基地攻撃は 破滅へのトリガー

いつ敵基地攻撃を開始するかが、問題です。①ミサイルを日本に向けてセットした時。②ミサイルを発射した時。①も②も訓練・軍事演習だったのと言いつけられたら、日本が先制攻撃してきたと敵の反撃の口実を与えます。日本が敵基地攻撃能力を持つことが抑止力になるという方がおられますが、これを上回る迎撃能力を敵が持つのは自明ですから「抑止のジレンマ」に陥り果てしない軍拡の道にすすむことになります。

作:あすわか イラスト:大島史子 監修:柳澤協二



①岸田政権は「国民の命や暮らしを守るため」といって「敵基地攻撃能力」の保有に積極的な姿勢を示しています。

「敵基地攻撃能力」というのは、飛んでくるミサイルを迎撃するのはちがいで、敵の基地などのミサイル発射拠点・発射装置を攻撃・する能力のことです。

さらに岸田首相はこの敵基地攻撃能力を「他国への攻撃に反撃する集団的自衛権として行使する可能性」にも言及しました。そもそも何それ? ほんとに必要なの? 一緒に考えてみませんか。



②「敵基地攻撃能力」を日本が持つと、他の国からは日本が他の国を攻撃する準備をしているように見えるよね。

そうだとすれば、他の国は、日本が「敵基地攻撃」をするより先に日本をやっつけないといけなから、日本に対して「敵基地攻撃」をしてもOKになるはずだね。

本末転倒です。

作:あすわか イラスト:大島史子 監修:柳澤協二



③ミサイル基地をつぶせ! っていうっても、ミサイル発射台が何台あるかも、ミサイル発射台の全部がどこにあるのかも分からない。

そんな機密情報を他国に教えるはずないでしょ。山奥かもしれないし、他国との境界付近かもしれないし。常に情報を教えてくれるスパイがその国全土にいないと無理でしょ〜。



④「日本への攻撃に着手」なんて、知ることはできないよ。仮に人工衛星が何かでミサイルへの給油の様子を捉えたとしても、それだけで日本を狙ってるかどうかは不明だね。

オンタイムで発射を見守る技術も無いし、日本が標的と思いつ込んで基地を破壊したら、**国際法上許されない先制攻撃になる可能性大!** ☹

作: あすわか イラスト: 大島史子 監修: 柳澤協二



⑤基本的なことですが...「敵基地」のミサイル発射台を攻撃するといっても、発射台っていつも同じ場所じゃないよね?

こちらがみつけてから攻撃するまでに、**タイムラグ**があるよ。その間に車輪を使って動かさせちゃう。そしたら、ピンポイントで狙わなきゃ意味ないよ。空振りになって日本が危なくなっちゃう。



⑥せめて専守防衛の自衛隊だったら、他国の脅威にはならないから、攻撃もされないんじゃないかな。

でも、専守防衛どころか先制攻撃にも見えかねない「敵基地を向いているミサイル配備」を見せちゃったら、他国だって日本を攻撃しないと! と考えちゃうんじゃない? (文句言えないよね)

作: あすわか イラスト: 大島史子 監修: 柳澤協二



⑦イラク戦争では「世界最強」のアメリカ軍でも、イラク軍のミサイル発射台を半分ちょっとしか破壊できなかった。

北朝鮮は200発以上のミサイルに加えて発射台もたくさんあると言われてるから、**全部を発射前に攻撃～なんて不可能。**

攻撃が外れたら、当然向こうも反撃してくるよ。



⑧日本政府は、仮にアメリカがどこかの国に攻撃されそうになったときには、日本が、「**集団的自衛権の行使**」として敵基地を攻撃することも憲法許される、と国会で答弁しているから、日本自身が攻撃されてなくても日本がどこかの国をミサイル攻撃するってことにも使われかねないよ。

作：あすわか イラスト：大島史子 監修：柳澤協二



⑨最新型のミサイル、最新型の戦闘機…きりがない軍拡に、私たちの納めた税金を注ぐのって、**そもそもお金の使い道としてどうよ?**

税金は、まずはコロナ対策、貧困対策、子どもの就学支援、保健所・病院の増設とか、国民の人間らしい生活を保障するために使うべきなんじゃない?



⑩結局「抑止力」での脅し合いは、終わりのない軍拡競争になるよね。

経済的にも地政学的にも、なにより「平和のうちに生存する権利」の保障という点からも、有限な資源や税金を軍拡に使っただけじゃなくて、**平和外交の努力を積み重ねて戦争の芽を摘むことが、一番合理的だと思うわけ。**

作：あすわか イラスト：大島史子 監修：柳澤協二